



医療従事者

## 全員参加による医療の質向上のために

患者急変の兆候を察知し、適切に素早く対応するためのRapid Response System(RRS)は、心停止(Code Blue)対応と相まって、その重要性が国内外で急速に高まりつつあります。このたびRRS運営委員会では、有効に機能するRRSの普及活動の一環としてeラーニングを制作しました。

- わが国初！ 本格的RRSのeラーニング !!
- ER/ICU従事者はもとより、一般病棟の看護師など幅広い医療人を対象に、RRSの重要性をシミュレーション動画等を交えてわかりやすく解説！
- 医療安全や医療の質向上に資する研修(ワークショップ)用教材として有用！

### 「院内救急システム:RRS～医療安全を変えるシステム～」シリーズ

- ① 院内急変対応チーム(70分)  
— 東京ベイ・浦安市川医療センター センター長 藤谷茂樹
- ② RRS起動例とノンテクニカルスキル(60分)  
— 北里大学病院 RST/RRT室 主任 小池朋孝
- ③ 気づき/要請levelと対処～要請側と対応側の教育～(70分)  
— 北里大学病院 RST/RRT室 集中ケア認定看護師 森安恵実
- ④ 院内急変対応—院内教育—(60分)  
— 医療法人医誠会 医誠会病院 副院長・救命救急科部長 川嶋隆久
- ⑤ Rapid Response Systemの構成と問題事例(85分)  
— 大阪市立総合医療センター 集中治療部 部長(収録時)  
奈良県立医科大学附属病院 医療安全推進室 病院教授 安宅一晃
- ⑥ 周術期院内急変(60分)  
— 名古屋大学大学院医学系研究科 救急・集中治療医学講座 准教授 高橋英夫
- ⑦ 院内急変対応について ～院内心停止の全例登録から見てくるもの(75分)  
— 静岡県立総合病院 循環器内科 院長代理 野々木宏

※( )内の時間には15分間のテスト時間を含みます。

※受講料:5,000円(税別) 受講期間:6ヵ月 教材:PC・タブレット端末・スマホ対応

受講の流れ:

Web申し込み



ID/PW発行



修了証発行

eラーニング監修:RRS運営委員会

制作/運営:特定非営利活動法人 医療の質評価・国際協力センター